

【発行所】

佐賀県三養基郡みやき町
大字原古賀7324

独立行政法人
国立病院機構 東佐賀病院

【編集発行】 広報委員会

《基本理念》

地域の病む人々に常に寄り添い
安全で質の高い医療を提供し
信頼・安心していただける病院をめざします



太良町竹崎城址菜の花

目次

*題字「ひがしさが」 平野 長照 名誉院長 書

■ 年頭のご挨拶	2	■ アニマルセラピーに参加して	9
■ ふれあい看護体験	3	■ みやき町 町民祭に参加して	10
■ 重症心身障害病棟「親子ふれあい秋祭り」	4	■ 医師事務作業補助者の紹介	10
■ 消防避難訓練を実施して	5	■ 東佐賀病院合同忘年会	11
■ 災害医療研修会に参加して	5	■ 地域医療連携室のご案内	12
■ 地域医療従事者研修	6	■ 外来診療担当医表	13
■ 第73回国立病院総合医学会に参加して	8	■ 病院アクセスマップ	14
■ ゴスペルコンサート開催を経験して	9	■ 地域医療研修センターのご案内	14



院長
北島 吉彦

年頭のご挨拶

明けましておめでとうございます。職員の皆様には心穏やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。昨年暮れからインフルエンザ院内感染で病棟閉鎖を余儀なくされ、感染拡大防止に奔走されたスタッフも多かったことと思います。迅速・厳格な感染対策により大ブレークすることもなく、無事に終息することが出来ました。大変ご苦勞様でした。

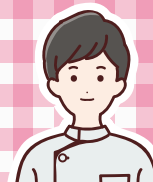
昨年は平成から令和という新しい時代を迎えた記念すべき年でした。私的には院長就任初年であり、緊張感が絶えない1年でした。平成31年4月の就任挨拶で、①重心病棟の再活性化 ②救急医療の充実 ③電子カルテ導入の承認を主目標に掲げ、全職員へ所信表明を行いました。皆様の絶大なるご協力により、目標のほぼ全てを達成することができ、経営面でもまずまずな船出を果たすことができました。全職員の強い結束力を痛感するとともに望外の喜びであります。本当に有難うございました。

一方で、厚生労働省が9月下旬に再編・統合を検討すべき公立・公的病院424病院を公表しました。平成29年6月単月の病床機能報告を基に、がんや救急など急性期機能9項目に焦点を当て、それらを十分に満たさない急性期を有する病院が対象となりました。佐賀県内では5病院がリストアップされ、遺憾ながら東佐賀病院もその中の1病院として紙面に掲載されました。当院の一般病棟は急性期と回復期である地域包括ケアで構成され、さらに重心・結核といったセーフティネット医療を併診する複合型病院です。一律に急性期病院と比較されたことに戸惑いと憤りを感じ得ませんでした。しかも当院は平成30年に休床していた55床をすでに返還しており、佐賀県の地域医療構想会議では整理がついているものと考えています。今回の公表を受けて、すぐに全職員に対し心配無用であることのメッセージと患者様への風評被害防止策としてホームページにて当院の再編・統合はないことを発信しました。現在、幸いにも外来・入院患者数には影響なく、胸を撫で下ろしておりますが、今後も厚生労働省の動向には注視していく必要があります。

さて、令和2年は、オリンピックイヤーで日本中盛り上がる年になることは間違いありません。私達の東佐賀病院も電子カルテ導入イヤーとなります。早々にワーキンググループを結成し、今秋には運用を開始します。年頭から忙しくなりますがよろしくお願いします。

それでは皆様、本年も「地域の病む人々に常に寄り添い、安全で質の高い医療を提供し、信頼・安心していただける病院」を目指し、気概と思いやり精神を持って東佐賀病院を盛り上げていきましょう。

ふれあい看護体験



副看護師長
佐田 里穂

【日時】

令和元年8月21日（水）9：00～15：30

【結果】

8：30より受付を開始し、学生の出欠を確認後大会議室へ案内しました。まず、白衣を渡し更衣を案内し、髪結いの手伝いを行いました。全員の準備が整ったところで、看護部長からの挨拶にて、ナイチンゲール生誕のイベントであることや、今回の体験を将来の希望に向けて活かしてほしいなど激励の言葉をいただきました。

その後各病棟へ移動し、病棟の特殊性やナースコール対応、VS測定見学、重症児病棟では療育の見学などを行いました。患者様との会話や担当者からの声掛けに対して笑顔が見られたりし、素直な反応を見ることができました。

体験後の意見交換会では、2グループに分かれ一日の感想を述べ合いました。「聴診器を初めて使い心臓の音や呼吸の音を聞いて感動した。」「実際にベッドに臥床したり車椅子に移乗したりして患者さんの気持ちになれた。」「車椅子は思っていたより怖かった。」「障害のある患者さんと初めて接して健康が当たり前でないと感じた。」「患者さんに合わせて声をかけたり、ケアをしていると思った。」「患者さんのことをいつも考えていてすごいと思った。」など学びの多い1日だったという意見を多く聞くことができました。また、担当者が看護師になった理由などのエピソードもあり、和やかな雰囲気意見交換を行うことができました。

今回の活動をととして、学生のほとんどは看護師を志望していたり、医療に興味を抱いていたりと意欲的な印象を受けました。また、私達が看護師を目指した頃の気持ち、日頃の看護を振り返る良い機会となりました。

した。今後も看護職を目指す人が増えるよう、看護の魅力をより多くの人に伝えていきたいと思います。



重症心身障害病棟「親子ふれあい秋祭り」

秋祭り担当 保育士 江頭 紀子

重症心身障害病棟で、令和元年9月に「秋祭り」を実施しました。

訓練棟や病棟をたくさんの提灯で飾り付けをした会場で、ジュースやわたがしなどの屋台を開き、利用者ごとご家族と一緒にイベントステージを鑑賞しました。期間は3日間設定し、5日・11日は訓練棟、13日は各病棟や病室で実施し、利用者全員が参加することができ、面会のご家族や職員と楽しい時間を共有することができました。

イベントステージでは、迫力ある演奏の「琉球國祭り太鼓」、様々な表情をして踊る「ひょっこり踊り」、温かみのある演奏の「アフリカジャングル」を鑑賞しました。利用者は、音楽や様々な楽器音が振動になり響いてくる感覚を感じながら、笑顔で鑑賞したり、家族の手を握ってゆっくりと身体を動かしたりしていました。

利用者、ご家族、ボランティアの方々、そして職員が共に唄い、手を握り、目や耳、身体でお祭りの楽しさを感じて、同じ時間を共有できたことは皆の喜びになったと思います。

保護者の会会長はじめご家族の皆様、中原特別支援学校より糸井校長先生、辻教頭先生、分校舎の先生方、そして国際医療福祉大学、西九州大学、筑紫女学園大学、上峰町社会福祉協議会のボランティアの方々、皆様に心より感謝を申し上げます。



消防避難訓練を実施して

管理課 庶務班長

鶴崎 裕介

令和元年9月20日（金）14時00分より、昼間想定、13病棟を出火場所として消防避難訓練を実施しました。13病棟では建替後、初めての訓練となりました。訓練内容は、自衛消防隊の役割の確認、現場から庶務及び消防への通報が素早くできるか、初期消火や模擬患者の搬送が適切且つ迅速にできるか、消火器や消火栓を正しく使用できるか等でした。当日はあいにくの雨模様となり、急きょ避難場所を屋内に変更しましたが、職員の皆さんは迅速に対応できていました。鳥栖・

三養基地区消防事務組合の西消防署から署員の方にお越しいただき、きちんと役割分担や点呼ができていたとの講評をいただきました。

火災はまずは起こさないことが大事ですが、もし起きてしまったら、初期消火をしっかりとすること、煙に注意して迅速に避難することが重要です。これから火災が増える季節になりますので、普段から消火器の位置や避難経路を確認するなど防火意識を心がけ、万が一の際に冷静かつ迅速に行動できるようにしましょう。



災害医療研修会に参加して

看護師

水津 敦也

今回、令和元年9月21日に開催された「筑後地域災害医療研修会」に参加させていただきました。

災害医療研修会とは、医師・看護師・救急救命士など医療に携わる職種が一堂に会し、大規模災害を題材として多数傷病者を受け入れる場合の対応等について、机上シミュレーションを用いて、医療機関と消防機関において相互の活動の理解を深める研修会です。久留米大学災害危機管理教授の山下典雄教授による災害医療の講義の後に、各グループに分かれて机上シミュレーションを行い災害医療では如何なる対策や連

携が必要なのかをディスカッションしました。医療機関におけるシミュレーションでは、病院内で適切なトリアージを行うための人員の配置、輸送経路、病床の配置等で活発な意見交換が行われ、多くのことを学ばせていただく有意義な時間となりました。

災害医療では、静穏期の準備・トレーニングが重要になります。今回の学びをスタッフと共有し、いつか来る有事のために、平素から看護師としてできることを考え実践し、災害看護の質の向上に繋げていきたいと思っています。

地域医療従事者研修

8月22日開催

理学療法士 朝日 大介、濱 洋介

8月22日当院研修センターにて、心臓リハビリテーション（以下：心リハ）についての講義をする機会を頂きました。研修は2部構成で、まず第1部では心不全の病態と生活管理について、第2部では心不全のリハビリテーションについて話をさせて頂きました。以下、研修の簡単な内容と佐賀東部地区における心リハの課題について紹介させて頂きます。

心リハとは、簡潔に言うと心疾患患者を対象に行う多職種介入の包括的リハビリのことです。他のリハビリと比較すると知名度は低いのですが、近年、心不全患者の急増と共に心リハの重要性が脚光を浴びています。

現在、佐賀東部地区全体でみると、心リハ施設数や心リハ指導指数は十分とはいえない状況です。そのため心不全増悪による再入院をいかに防いでいくかということは今後地域全体の課題になってい

くと思われます。

現在のところ、心不全増悪による再入院減少には、一般的に外来心リハでの包括的疾患管理が有用といわれていますが、地域包括ケア病棟を最大限に活用することでも同様の効果が期待できると考えています。多職種介入による心リハ・患者指導を行いながら、ソフトランディングで退院することが高齢心不全患者には肝要と思われます。その上で地域との連携は必須であり、包括病棟は医療（心リハ）と介護をつなぐ架け橋としての役割も求められているといえます。

今回の研修を担当するに当たり、佐賀東部地区全体の心リハの状況や課題、また当院が求められる役割を再認識することが出来ました。このような貴重な機会を頂いたことを深く感謝しています。今後ともよろしくお願い致します。



9月26日開催

理学療法士 近藤 紫織

この度、9月26日に当院でCOPDをテーマに呼吸リハビリテーション（以下呼吸リハ）について講演させていただきました。当日は近隣の病院や施設から様々な職種の方々に多数ご参加いただき、このテーマへの関心の高さを実感しております。

当院は平成28年より呼吸ケアチームとして多職種による包括的呼吸リハを開始しました。近年高齢化に伴いCOPD患者数も増加傾向ですが、包括的呼吸リハを実施できる病院施設は限られています。そこで今回の研修は、呼吸リハとはどういうことをするのか、息苦しさで困っている患者様に具体的にどう声かけやアドバイスをしたらよいのか、どういう呼吸法を練習すればよいのか、明日からの臨

床に生かせるものをお伝えできるように意識してお話ししました。実際に、後日電話で患者様に関する相談のお問い合わせも複数件あり、この反応を大変嬉しく思います。

今回の研修などを地域の医療従事者が情報を共有しあえる場として活用していただき、当院からの一方的な話だけでなく、それぞれの施設の抱えている問題や患者様の状況等を積極的に意見交換できる場として発展していくのではないかと期待します。この研修を通して、私も呼吸リハチームの一員として役割を果たせるように、日々の臨床にさらに励んで参りたいと思います。今後とも宜しくお願い致します。



第73回国立病院総合医学学会に参加して

3病棟
寺崎 佳子

今回、第73回 国立病院総合医学学会にて「退院支援に活かす看護とは ～退院先が変更となる症例の傾向を分析する～」の演題でポスターセッションに参加しました。

退院支援については多くの病院で取り組まれており、演題も多くありました。それだけ難しい問題で、大切な取り組みであると改めて感じました。また、それぞれの病院でどのように取り組まれているのかポスターを拝見し、発表を聞くことができました。その中で、同じような問題を抱えていたり、患者側からのアセスメントに関わりを考えていたり、当院でも取り組んでみたいと感じる内容が多くありました。

今回の研究で学んだことを活かし、退院支援を困難にさせる要因を把握し、退院困難な問題を解決し、また、退院後も患者・家族の意向に沿った生活ができるように、今後も継続して関わっていききたいと思います。

国立病院総合医学学会という大きな学会での発表ということで、とても緊張しましたが、貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。



ゴスペルコンサート開催を経験して

地域包括ケア病棟
福田 隆恵

地域包括ケア病棟の患者様は、リハビリテーションを行いながら在宅復帰に向けた調整を行う病棟であり、急性期病棟の患者様よりも長く入院されます。そのため当院の地域包括ケア病棟では「心のリハビリ」として、毎月イベントを開催しています。

これまでは近隣の高校生による吹奏楽コンサートをメインに、アニマルセラピー、フラダンスショーなどを行ってきました。今回初めて「ゴスペルコンサート」を開催しました。ゴスペルコンサートにある定番の曲だけでなく、高齢の患者様に合わせた楽曲も選曲し、また一緒に参加できるように簡単な動きを取り入れる等、参加者全員が楽しめる構成となっていました。そのため患者様の反応が大きく、拳を振り上げて曲に合わせ歌い楽し

む姿を見て、音楽の力はすごいなと改めて感じました。

当病棟では、今後も様々なイベントを企画し、実施していきたいと考えていま

す。開催して欲しいイベントや協力頂ける団体・個人などの意見や情報も院内外から募集できたらと思っています。多様な取り組みを実施、継続することで、患者様の心を癒やし、入院生活、リハビリへの意欲向上に繋げていきたいと思っています。



アニマルセラピーに参加して



看護師
堤 えり子

私の勤務する地域包括ケア病棟は急性期を終え、退院にむけた患者様を対象に日々看護を行っています。病棟リハビリにも力を入れており、身体だけでなく「心のリハビリ」の充実も図っています。今年最初のイベントとして1月20日にアニマルセラピーが行われました。私自身は犬を飼った経験が無く不安はありましたが、今回初めて担当者として参加をしました。



実際にセラピー犬と一緒に病室を回ると、寝ている患者様が自力で起き上がったり、自分の飼っている犬の話をうれしそうに語られたりと普段見られな

い表情や反応を見ることができ、知らない情報を得ることもできました。喜んで犬の頭をなで、子どものように抱きしめられている患者様の顔と、おとなしく患者様の顔をじっと見て尻尾を振り喜ぶセラピー犬を見て、私の心も癒やされました。こんなにおとなしい

のであれば、私も犬を飼ってみようかと今まで抱かなかった感情も芽生えました。

最初に抱いた私の不安も最終的には消えており、動物の持つ力はすごいと実感できました。今後も継続して病棟に癒しを運んできてもらいたいと思います。



みやき町 町民祭に参加して

給与係
野邊 桜子



11月10日(日)、みやき町の町民祭が開催され、東佐賀病院も参加しました。当日は、とても天気がよく町民祭日和でした。

北茂安保健センターの会場では、皮膚・排泄ケア認定看護師 河津涼子による「美と健康のためのスキンケア～日常のお手入れから将来の床ずれ予防まで～」



という演題で市民公開講座を行いました。また、広場では、肺年齢や骨密度等の測定、栄養士や薬剤師、医

師等による健康相談、子供たちを対象とした白衣体験を行いました。公開講座の参加人数は36名、当院のブース参加者延べ人数433名と昨年より多くの方々にお越しいただき、大盛況のうちに終わることができました。

町民祭にはみやき町内外から多くの団体が参加しており、出店やステージショー、抽選会もあり、おいしい食べ物やショーを楽しみました。抽選会では当院の職員も数名当選し、豪華景品を持って帰りました。(私は佐賀牛が当たりました!!)



町民祭に参加することで、地域住民に当院の特長や機能を知っていただき、より地域に寄り添った病院になっていく為の大切なPR活動の場であると感じました。

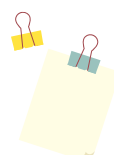
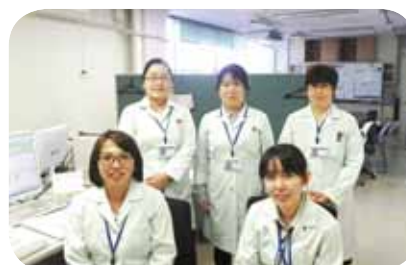
医師事務作業補助者の紹介

医師事務作業補助者は、平成30年9月に新設されたポストです。毎日多忙な先生方の事務的な業務をサポートするために設置されました。当初は、2名で業務を行っていましたが、現在は糖尿病・内分泌内科1名、呼吸器内科1名、小児科1名、整形外科2名の計5名で日々の業務を行っています。

主に医師の指示のもとで、診断書や処方せんなどの書類作成業務を行っています。各診療科の業務内容としては以下のとおりとなります。

- 糖尿病・内分泌内科：外来での診察補助。
- 呼吸器内科：外来での診察補助、1病棟での書類作成等の事務作業。
- 小児科：3病棟と重症心身障がい者（児）病棟での書類作成業務。
- 整形外科：外来での診察補助、書類作成等の事務作業。

まだ発足されて間もないですが、日々の医師の業務が円滑になり、より丁寧な医療が提供できるよう努めていきたいと思いますので、これからもよろしくお願いいたします。



東佐賀病院合同忘年会

庶務係長
森本 圭祐

東佐賀病院合同忘年会在令和元年12月12日に開催されました。

今年の忘年会は参加者130名、余興9つ、豪華景品（ルンバやニンテンドースイッチライト、かに三昧等）

を用意したビンゴ大会を行い、例年にもまして大盛況でした。

来年も病院を盛り上げていこうという職員の気持ちが溢れる素敵な忘年会でした。



地域医療連携室のご案内

《ご利用方法について》

1. ご紹介いただく場合について

「診療情報提供書（当院様式以外のものでも結構です）」に必要事項をご記入いただき、ファックスにてご連絡下さい。診療情報提供書をすぐに送信いただけない場合は、直接、新患担当医師又は各診療担当医まで電話にてご連絡下さい。その場合の診療情報提供書は、できるだけ患者様が受診される日時までに、地域医療連携室までFAXいただきますようお願い致します。

2. 緊急時のご紹介について

緊急を要するご紹介は、直接各診療科医師へご連絡下さい。

患者様の症状などを医師同士でご確認していただくことにより、受入体制、各種検査室の手配など迅速に対応できます。また、救急搬送によるご依頼の場合には、救急当番医師が対応致します。

3. 患者様へのご説明について

受診当日に「予約案内書」「診療情報提供書」「健康保険証」をご持参のうえ、外来受付窓口へご提出いただきますよう説明をお願い致します。

4. ご報告について

診療結果につきましては、地域医療連携室または担当医から、ファックス若しくは郵便にて速やかにご報告申し上げます。なお、報告がないようでしたら地域医療連携室までご一報下さい。

5. 入院のご依頼について

入院をご希望の場合でも、いったん当院の医師の診察後に決定させていただきますので、ご理解の程お願い申し上げます。なお、緊急の場合は直接各診療科へお電話いただき、担当医にご相談いただきますようお願い致します。

6. その他

お問い合わせ、ご不明な点やご意見ご要望等がございましたら、いつでもご遠慮なく「地域医療連携室」へお知らせ下さいますように、お願い申し上げます。

独立行政法人国立病院機構 東佐賀病院 地域医療連携室

ご連絡は下記のファックス又は電話をご利用下さい。

代 表：TEL 0942 (94) 2048 内線 309

直 通：TEL 0942 (94) 2058 FAX 0942 (94) 3748
(FAXは24時間受付)

E-mail：renkei-56@hosp.go.jp

<平日／午前8時30分～午後5時15分>

※平日午後5時以降及び土・日・祝祭日受付分は、翌日など出来るだけ早急に返事を送らせていただきます。

外来診療担当医表



(受付時間) 月曜日～金曜日(祝日を除く)

新患・再来／8:30～11:30 ※急患はこの限りではありません

小児科受診の新患・再来／8:30～11:30、14:00～16:30

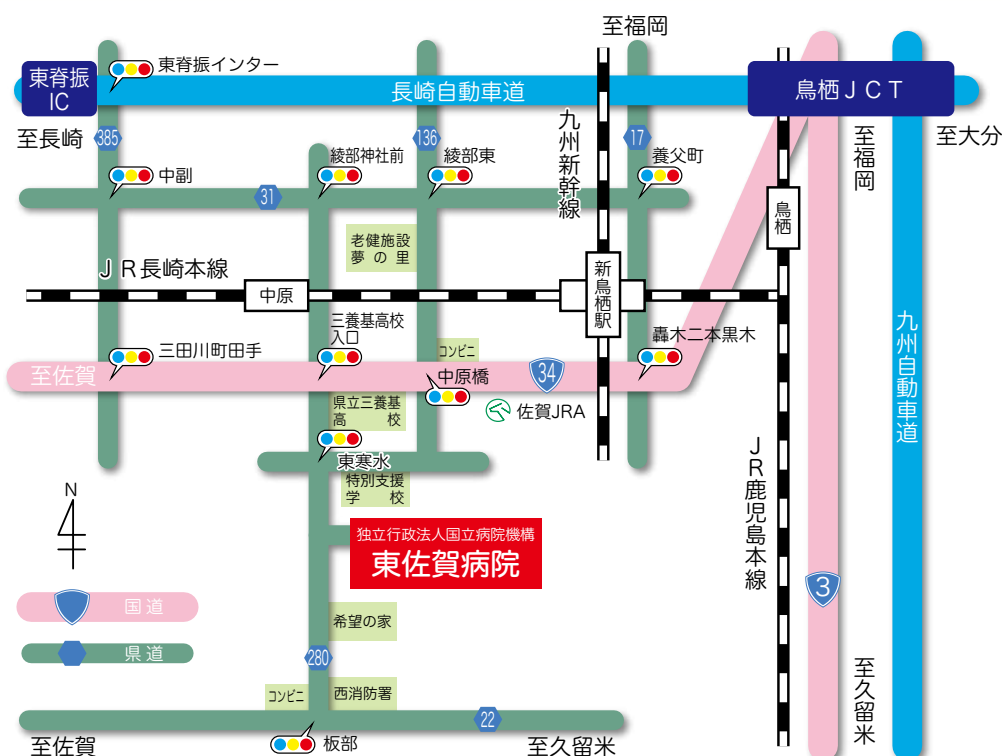
FAX 0942-94-3137

ホームページ <https://higashisaga.hosp.go.jp>

診 療 科 目				月	火	水	木	金	
内 科	新 患			吉村 昌也(消化器) 小林 弘美(呼吸器)	千布 節(呼吸器) 那須 俊甫(糖尿病)	大井 順二(消化器) 田中 直寛(循環器)	犬山 正仁(呼吸器) 山内 寛子(糖尿病)	岡田祐美子(内 科) 田中 将英(呼吸器)	
				千布 節 田中 将英	小林 弘美	小林 弘美 田中 将英 犬山 正仁		千布 節	
	再 来	呼 吸 器							
		消 化 器				大井 順二		大井 順二 吉村 昌也	吉村 昌也
		循 環 器				田中 直寛			田中 直寛
		内 科							
		糖尿病・内分泌			那須 俊甫	山内 寛子	山内 寛子	那須 俊甫	重本 里美 (9：30～)
	専 門	甲 状 腺							
肝臓専門外来			磯田 広史						
外 科	消 化 器			大高 和真 北島 吉彦	田中 雅之 北島 吉彦	大高 和真 田中 雅之	大高 和真 北島 吉彦	田中 雅之 大高 和真	
	乳 腺 外 科 (予約制)							大高 和真 田中 雅之 (午後1：30～予約制)	
小 児 科	一 般		午前	横田 吾郎	荒牧 修一	山本 修一	中西 未来	横田 吾郎	
			午後	今吉美代子	荒牧 修一	佐賀大学	陣内久美子	今吉美代子	
	専 門	アレルギー (予約制)	午前						
			午後	中西 未来 田中祥一朗					
整 形 外 科	新 患			大場 陽介			上通由紀子		
	再 来			本岡 勉 上通由紀子	本岡 勉 大場 陽介	本岡 勉 上通由紀子	本岡 勉 大場 陽介	上通由紀子 大場 陽介	
放 射 線 科				江頭 玲子 (9：00～11：00)				福井 修一 (9：00～11：00)	
消 化 器 内 視 鏡				大井 順二	吉村 昌也	吉村 昌也	田中 雅之	大井 順二	
眼 科					午前		午後		

- 栄養相談は、月曜日～金曜日まで毎日行っています。
- 金曜日の乳腺外来は予約制ですので、事前に外科外来にご予約下さい。
- 小児科は、午後も診療を行います。(午後の診療については、担当医の変更がある場合があります。)
小児アレルギー外来は、小児の喘息、アレルギー性鼻炎やアトピーなどの診察、相談を行っています。
小児アレルギー外来、予防接種は予約制ですので事前に小児科外来へご予約下さい。
- 整形外科の火、水、金については、再来担当のいずれかの医師が新患を診察します。
- 眼科外来は、当院にて治療中の患者様に限ります。

● 病院アクセスマップ ●



1. JR長崎本線普通列車「中原駅」下車。
南へ徒歩15分(1.4km)
●鳥栖駅～中原駅間 約9分
●佐賀駅～中原駅間 約17分
2. 西鉄バス(西鉄久留米)～(鳥栖駅)間
(あやべ經由41番)の「東佐賀病院前」にて下車。
●西鉄久留米より 約30分
●JR久留米より 約20分
●JR鳥栖より 約30分
3. 九州自動車道及び長崎自動車道
●鳥栖インターより(国道34号線經由) 約30分
●東脊振インターより(県道31号線經由) 約20分

地域医療研修センターのご案内

本センターは医療従事者の方であれば利用者の職種は問いません。
病院の職員をはじめ地域住民の皆様、及び医療機関の皆様、講演会・研修会・勉強会等医療・健康に関するコミュニケーションの場としてご利用下さい。

●お申し込み・お問い合わせ先●

東佐賀病院
管理課庶務係

☎0942 (94) 2048
(内線 333 又は 219)

編集
後記

明けましておめでとうございます。
広報誌「ひがしさが」をお届けいたします。
皆様方におかれまして良き年でありますように、心からお祈りいたします。
本年も、どうぞよろしくお願いいたします。

(広報委員会)